

今年の初夏は梅雨明けが遅く、昨年と同様に大雨による水害が頻発しました。皆様の周辺は大丈夫でしたでしょうか？ 本号の編集後記を執筆させていただいている7月下旬には参議院選挙が行われ、芸能界では闇営業から端を発したパワーハラスメントの問題など、話題が盛りだくさんの時期でした。とりわけパワーハラスメントは、働き方改革と同様に我々医学界にも深く関連している問題です。我々の研修医時代(昔よりは良くなったかもしれませんが)は、指導医から怒られて成長する、給料よりも経験を得たい、少しでも同期よりも手術を経験したい、という気持ちで日常診療に臨んでいました。しかし、どうやら最近は違うようです。パワーハラスメントと指導をどこで線引きするのか、その境界の見極めが困難な場合も多いと思います。また、当事者間の問題のみならず、周りの人がそう感じてしまうとパワーハラスメントと認定されます。外科領域では技術を伝承していかなければならず、その過程でいかに効率よく(怒らずに)指導していくのか、各科で悩まれていることと察します。我々の時代の技術の習得は、目でみたことの記憶を頼りにして術前にイメージし手術に臨んでいました。しかし、内視鏡手術が全盛の現代では、手術のほとんどすべてが記録されており、手術の復習は容易になりました。一方、復習の深さは個人により差があると思います。うまく復習できる外科医は成長が早いと感じます。働き方改革においては、時間外労働と自己研鑽(学会や論文の執筆など)の線引き、仕事量の分担(看護師やコメディカルを含めた)、労働時間短縮による給与の減少、など各病院や部署で取り組むべき問題も散見されます。きっと学会員の皆様も我々と同様に日々悩まれているでしょう。

効率よく経験をj得るために本学会誌などで知見を得ることは重要なことです。本号では、症例報告10編、手術手技2編の計12編が採用になっています。いずれの論文も腹腔鏡、胸腔鏡手術の利点を生かした症例や手技の工夫が記載されています。学会員の皆様の日常診療に役立つ内容になっていますので、是非ご一読ください。

(文 敏景)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第24巻 第5号) 2019年9月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価: 本体 2,800 円 + 税

2019年 年間購読料: 16,380 円 + 税 *学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 池田, 小倉)

<http://www.jses.or.jp>

発売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 水野, 安部)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600024005000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●原著

左側結腸癌における体内再建の有用性の検討持田郁己・他 大阪赤十字病院外科
腹腔鏡下子宮全摘術の経腔的検体回収による腔壁・会陰裂傷の危険
因子の検討萩原聖子・他 メディカルトピア草加病院婦人科

●総説

腹腔鏡下ヘルニア手術を施行する外科医が知っておくべき神経解
剖—術後神経障害性疼痛の発症を減らすために成田匡大・他 国立病院機構京都医療センター外科

●症例報告

術前 CT にて診断し腹腔鏡下に修復した横行結腸間膜ヘル
ニアの 1 例桑野紘治・他 独立行政法人国立病院機構相模原病院外科
小児直腸脱に対し腹腔鏡下直腸固定術を施行した 1 例河島茉澄・他 八尾徳洲会総合病院小児外科
大腿ヘルニア嵌頓に対し腹膜外腔アプローチによる内視鏡下ヘルニ
ア修復術を行った 1 例天野翔太・他 臼杵市医師会立コスモス病院外科
腹膜外腔到達法による腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後に発症した吸収
性体内固定用組織ステーブルによる腸閉塞の 1 例林谷康生・他 マツダ株式会社マツダ病院外科
腹腔鏡下に横隔膜欠損孔を縫合閉鎖した外傷性肋間ヘルニアの 1 例石川諄武・他 磐田市立総合病院消化器外科
開腹胃全摘後、食道腺扁平上皮癌内視鏡治療後肝門部リンパ節再発に対する腹腔鏡
下リンパ節生検：1 例報告前田祐助・他 赤坂見附前田病院
腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術後に発生した横隔膜ヘルニアの 1 例東本 郁・他 岩手県立中央病院消化器外科
腹腔鏡下に修復した大坐骨孔ヘルニアの 1 例米盛圭一・他 鹿屋医療センター外科
TAPP 法にて修復した鼠径部半月状線ヘルニアの 1 例萩野茂太・他 富山市立富山市民病院外科
但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。